

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された経済企業委員長報告は、以下のとおりです。

令和6年2月定例会

経済企業委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、えひめの女性県内就職促進事業についてであります。

このことについて一部の委員から、これまでの女性の県内就職の状況はどうか。また、県内での就職を選択しない理由をどう認識しているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県内学生のうち、女性の県内就職率は、平成24年度の58.3%から令和4年度は51.2%と7.1ポイント減少しており、男性の0.4ポイント減少に比べ減少率は大きくなっている。

女性が就職先を選択する際、男性に比べ、都会生活への憧れが強く、生活文化面をより重視しているというアンケート調査結果を踏まえ、本事業では、ジョブカフェ愛ワークを中心に女性目線での、愛媛で働き暮らす魅力の掘り起こしを行い、やりがいのある仕事や充実した職場環境を備えた県内企業を紹介し、若年女性の県内定着が進むよう取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第2点は、県内経済の活力創出に向けた経済労働施策についてであります。

このことについて一部の委員から、県内経済の活力を創出するための経済労働施策の推進に向けた、来年度の意気込みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、来年度は、最も重要な県民所得向上の実現に向け、就業者の確保と、企業の稼ぐ力の向上がポイントになると考える。

就業者の確保の観点では、女性に特化した取り組みをはじめ、若者の地元就職・地元定着促進や外国人材受入れの円滑化、産業のDX推進のためのデジタル人材育成に、引き続き取り組んでいく。

企業の稼ぐ力の向上に向けては、収益力と競争力の強化が重要であることから、国内外への販路開拓・拡大や新技術開発への支援、新事業の創出等に取り組む、経済情勢を見極め、あらゆる手段を総動員しながら、オール愛媛で、効果的に施策を展開していきたい旨の答弁がありました。

第3点は、今後の県立病院の運営についてであります。

このことについて一部の委員から、県立病院の令和5年度決算が30億円を超える赤字となる見通しの中、今後、経営の安定化にどのように取り組んでいくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、県立病院は新型コロナの発生当初から、通常診療に制約も受けながらコロナ対応に重点を置いた運営を行ってきたが、患者数が大幅に減少するなど新型コロナの経営に与える影響は非常に大きく、昨年5月に5類に移行したものの、今年度も入院患者数はコロナ前の8割台と回復が遅れている。

令和5年度に見込まれる30億円を超える大きな赤字を、短期間で改善することは困難なため、3年後の令和8年度に収支均衡を目指すことを、今年度改定予定の中期経営戦略に盛り込み、県民に不安を与えることのないよう、集中的に経営改善に取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・海外営業力強化事業
- ・砥部焼等の伝統工芸の活性化支援
- ・今治病院の移転新築
- ・県立病院の災害対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。